

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月に開催
剰余金の配当基準日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座 口座管理機関
同連絡先 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
(お問合せ先) 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話(通話料無料)0120-094-777
公告方法 電子公告により行います。
公告掲載URL <http://www.g-7holdings.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)
単元株式数 100株
上場金融商品取引所 東京証券取引所(証券コード7508)

ご 注 意

- (1) 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、左記特別口座口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店においてもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

当社に関する情報はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.g-7holdings.co.jp/>



オートバックス・業務スーパーで躍進する

株式会社 **G-7** ホールディングス

本社 〒654-0161 神戸市須磨区弥栄台3丁目1番地の6
TEL 078-797-7700 FAX 078-797-7710

UD
FONT

40th
G-7 Group
おかげさまで40周年

オートバックス・業務スーパーで躍進する

株式会社 **G-7** ホールディングス



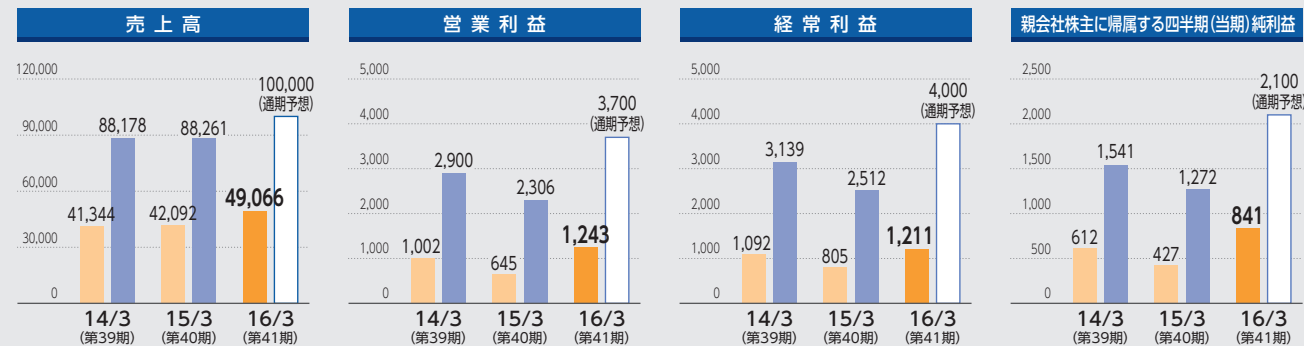
事業の安定成長と 企業価値の増大へ 果敢に挑戦していきます。

G-7グループは今年、創業40周年を迎えました。そして、中期経営計画の最終年度である第41期は、売上高1,000億円、経常利益40億円の達成に向け、「オートボックス」「業務スーパー」の出店施策とグループ方針である「経費削減、一人当たり生産性向上、適正在庫」の実践を継続し、既存店舗の収益力強化への取り組み等、積極的な事業展開を図ってまいります。



代表取締役会長 木下 守 代表取締役社長 金田 達三

■ 財務ハイライト 中間期 通期 (単位:百万円)



※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としており、前連結会計年度までの四半期(当期)純利益についても科目名を統一しております。

Q 当中間期の業績と主な要因をお聞かせください。

A 第41期中間期(平成27年4月1日～平成27年9月30日)は、政府による経済対策や金融政策に支えられ、雇用や所得環境の改善が続くなか景気は緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、小売業界におきましては、人件費やエネルギー・物流コストの上昇、個人消費伸び率の鈍化など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような事業環境のなかで、当社グループは「経費削減、一人当たり生産性向上、適正在庫」のグループ方針の実践を継続し、既存店舗の



G-7モールフェスティバル土山

収益力強化に取り組みました。また、G-7モールフェスティバル等のイベントを積極的に行うなど販売強化対策を実施しました。

以上の結果、第41期中間期の業績は、売上高49,066百万円(前年同期比16.6%増)、営業利益1,243百万円(前年同期比92.8%増)、経常利益1,211百万円(前年同期比50.4%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益841百万円(前年同期比96.7%増)となりました。

その主な要因としましては、昨年の消費税増税後の消費マインドの低下に対し、イベントなどの積極的な施策が奏功し、オートボックス・車関連事業が大きく改善したこと

が挙げられます。業務スーパー・こだわり食品事業におきましては、業務スーパーの移転に伴う新規出店を含めた5店舗を出店し、消費者の低価格志向



テラバヤシの店内

の継続による市場での支持が拡大した結果、堅調に推移いたしました。また、6月に株式会社テラバヤシを連結子会社化したことによる売上増と、こだわり食品事業での新規取引先の開拓や商材の発掘などにより、業績は好調に推移しました。アグリ事業におきましては、6月より農産物の販売方法を委託販売から買い取り販売に変更したことに伴い、売上高が伸びました。

Q 下期の取組みと通期予想をお聞かせください。

A 下期は、創業大感謝祭やG-7モールフェスティバルなど、グループ丸となって集客イベントを実施し、グループ全体の売上アップを図ってまいります。

オートボックスは、セルフガソリンスタンド「オートボックスエクスプレス」の出店や板金・塗装のBPセンターなどのサービス事業の構成比率を高めることにより、収益性の向上を目指します。また、業務スーパーとめぐみの郷におきましては、上期に引き続き、居抜き物件を利用した出店を実施してまいります。めぐみの郷は、テナント出店や小型

新店舗
情報

顧客生涯価値の増大をめざし、 楽しく豊かな暮らしを応援する幅広い事業を展開。

オートバックス

▶ 京都府、千葉県に併設店をオープン

平成27年6月、京都府に「オートバックス京都綾部」とセルフガソリンスタンド「オートバックスエクスプレス京都綾部」を同時オープンしました。同年9月には、千葉県にオートバックス野田梅郷店に併設した「オートバックスエクスプレス野田梅郷」、板金塗装のBPセンターと洗車機を備えた「クリスタルセブン野田梅郷」をオープン。G-7オートモールと称し、地域の皆様のニーズに応える店づくりをいたしました。



オートバックス京都綾部
京都府綾部市
【平成27年6月25日開店】



オートバックスエクスプレス野田梅郷
千葉県野田市
【平成27年9月11日開店】

業務スーパー

▶ 上期は5店舗をオープン

平成27年7月の北海道「業務スーパー恵庭店」オープンを皮切りに、北海道に他1店舗、埼玉県に1店舗、愛知県に1店舗、加えて千葉県でリニューアルによる店舗移転を実施しました。

下期も着実に出店を進め、高品質で魅力ある商品を低価格で提供してまいります。



業務スーパー恵庭店
【平成27年7月16日開店】



業務スーパー東岩槻店
【平成27年7月23日開店】

バイクワールド

▶ バイクセブンがバイクワールドに名称変更 福岡県に1店舗オープン

このたび、「バイクセブン」を「バイクワールド」に名称変更いたしました。

平成27年5月には、バイクワールド博多半道橋店をオープン。博多半道橋店は従来の雰囲気を一一新し、小型店ながら明るく開放的な内装となっており、バイク初心者や女性客の獲得を目指しています。また、福岡空港にも近いため、外国人旅行者には免税対応も行っています。



バイクワールド博多半道橋店
【平成27年5月15日開店】

めぐみの郷

▶ イオン高槻店・デュオこうべに出店、札幌営業所を開設

平成27年4月、野菜以外に兵庫県の特選品も集めたアンテナショップをデュオこうべ*に出店。同年7月には、大型店舗内へのテナント出店として、イオン高槻店内に「めぐみの郷イオン高槻店」をオープンいたしました。

また、札幌営業所を開設。北海道の農家を開拓し、美味しく、新鮮で安心・安全な農産物をめぐみの郷全店で販売します。さらに海外での販売も予定しています。

* デュオこうべ: JR神戸駅前の地下街



めぐみの郷 デュオ
プレミアムストア KOBE
兵庫県神戸市
【平成27年4月18日開店】



めぐみの郷イオン高槻店
大阪府高槻市
【平成27年7月17日開店】

チーズタルト専門店

▶ 大人気のBAKE CHEESE TART関西初オープン

平成27年8月にチーズタルト専門店「BAKE」を阪神梅田本店地下にオープン。BAKE CHEESE TARTは、北海道で年間400万個を販売する人気商品「焼きたてチーズタルト」の専門店です。オープン以来、連日長蛇の列ができ、多くのお客様から好評をいただいています。この関西初出店をG7ジャパンフードサービスが手掛けており、更に出店を加速していく予定です。



【平成27年8月28日開店】

らーめん神戸

▶ 海外2店舗目、インドネシア1号店をオープン

インドネシア・ジャカルタBSD地区で最大規模を誇るフードコートとレストランを備えた「イオンモールBSD CITY」内に、海外で2店舗目となる「らーめん神戸BSDシティ店」を平成27年6月にオープンいたしました。7店舗が集う「ラーメンビレッジ」内にあり、インドネシアで年々高まっているラーメンの人気を支えています。



【平成27年6月17日開店】

TOPICS

「申かつだるま」とライセンス契約締結

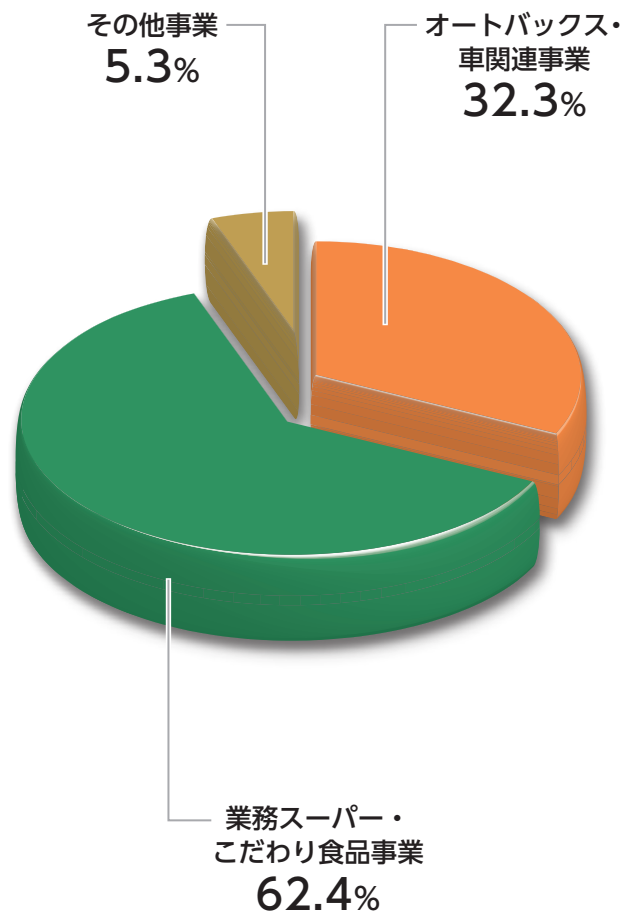
G7 INTERNATIONAL PTE. LTD.は、株式会社一門会*の子会社であるDaruma International Co., Ltd.と、「申かつだるま」事業の海外展開に関するライセンス契約を締結、東南アジアでの展開に基本合意しました。1店舗目は、年内に台北市(台湾)に出店予定です。今後はこれを足がかりに、ベトナム・マレーシア・インドネシアへの出店を考えております。

* 株式会社一門会: 子会社を通じて「申かつだるま」を運営

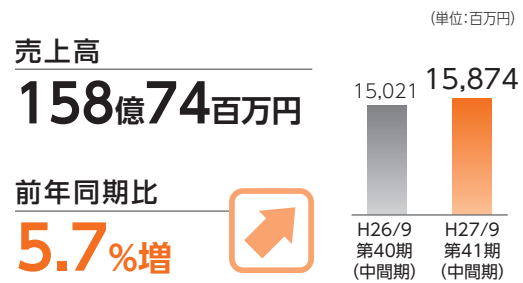
株式会社テラバヤシを子会社化

平成27年6月1日に株式会社テラバヤシの株式を取得し、株式譲渡契約を締結いたしました。テラバヤシは、当社グループの店舗内にテナント出店し、互いの企業風土・事業内容にも精通しております。また、テラバヤシが持つ精肉の仕入れや目利き等の高度な知識・技術は、当社グループの食品関連事業とのシナジー効果も期待できることから、今回の決定に至りました。

売上高構成比



オートバックス・車関連事業



オートバックス・車関連事業につきましては、オートバックスにおいて、前年の消費税増税後の消費マインド低下からの改善もありカー用品全般の売上は前年同期を上回りました。出店につきましては、「オートバックス」と「オートバックスエクスプレス」を京都府に各1店舗（京都綾部店）、「オートバックスエクスプレス」を千葉県に1店舗（野田梅郷店）オープンしました。これにより、売上高は15,874百万円（前年同期比5.7%増）となり、利益面におきましては、主力商品のタイヤおよびピットサービス売上の改善等により、営業利益は224百万円（前年同期比606.5%増）となりました。



オートバックス 野田梅郷店

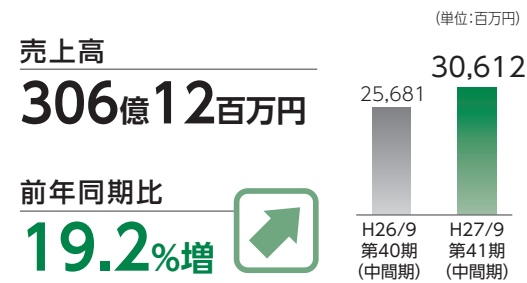
主要品目

車（四輪・二輪）関連用品、部品、車両販売

運営子会社

G-7・オート・サービス、G-7モータース、他

業務スーパー・こだわり食品事業



業務スーパー・こだわり食品事業につきましては、消費者に品質のよい商品をお求めやすい価格で提供する業務スーパーが堅調に推移しました。また、第1四半期より(株)テラバヤシを連結子会社化し売上に寄与したこと、こだわり食品事業が新規取引先の開拓や厳選商材の発掘等により、好調に推移しました。出店につきましては、「業務スーパー」および「テラバヤシ」を北海道に2店舗（恵庭店、月寒東店）、愛知県に1店舗（刈谷店）、埼玉県に1店舗（東岩槻店）オープンしました。これにより、売上高は30,612百万円（前年同期比19.2%増）となり、営業利益は1,037百万円（前年同期比63.3%増）となりました。



業務スーパー 刈谷店

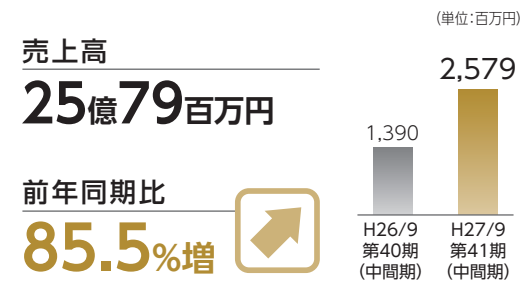
主要品目

冷凍食品・加工食品販売、厳選食品の卸販売

運営子会社

G-7スーパーマート、G-7ジャパンフードサービス、テラバヤシ、他

その他事業



その他事業につきましては、アグリ事業において、第1四半期より農産物の販売方法を委託販売から買取販売に変更したことに伴い売上高は伸長しました。出店につきましては、「めぐみの郷」を大阪府に1店舗（イオン高槻店）、新たに焼きたてチーズタルト専門店「BAKE CHEESE TART」を大阪府に1店舗（阪神梅田店）オープンしました。これにより、売上高は2,579百万円（前年同期比85.5%増）となり、営業利益は2百万円（前年同期は営業損失57百万円）となりました。



デュオプレミアムストア KOBE

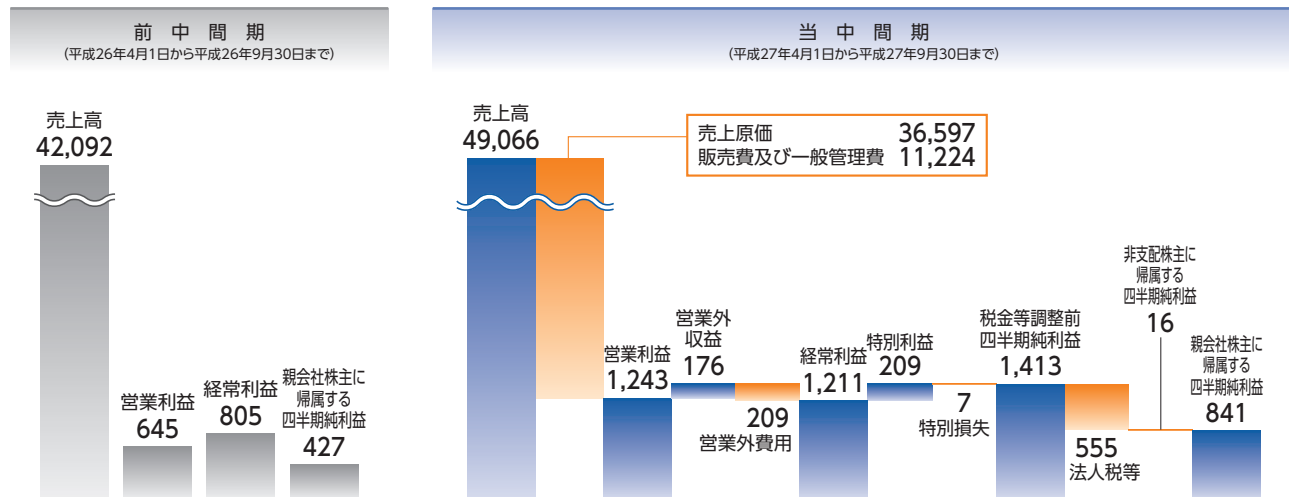
主要品目

農産物の直売、リサイクル用品の買取・販売、不動産賃貸業、飲食店経営等

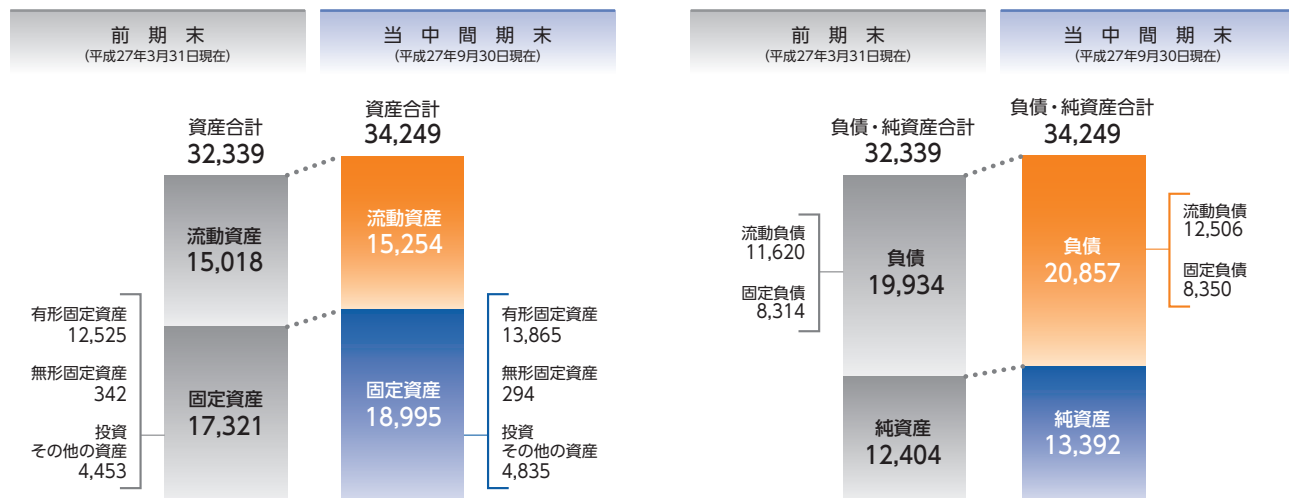
運営子会社

G-7デベロップメント、G-7アグリジャパン、他

■ 連結損益計算書(要旨) (単位:百万円)



■ 連結貸借対照表(要旨) (単位:百万円)



※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としており、前第2四半期連結累計期間についても科目名を統一しております。

■ 株式の状況 (平成27年9月30日現在)

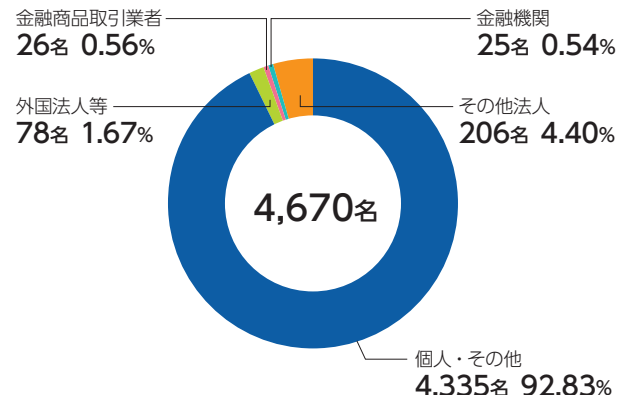
発行可能株式総数 52,000,000株
発行済株式の総数 13,336,400株
株主数 4,670名

大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
木下 守	1,830 千株	15.12 %
木下 智 雄	1,829	15.11
関 稚 奈 巳	1,129	9.32
有限会社キノシタファミリーサービス	1,094	9.04
木下 陽 子	826	6.82
MSIP CLIENT SECURITIES	445	3.68
株式会社オートバックスセブン	337	2.78
BANK JULIUS BAER AND CO., LTD.	190	1.57
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	154	1.27
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	94	0.78

(注) 1. 当社は自己株式1,225,569株を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

■ 所有者別株主分布 (平成27年9月30日現在)



■ 会社の概況 (平成27年9月30日現在)

商 号	株式会社G-7ホールディングス G-7 HOLDINGS Inc.
設 立	昭和51(1976)年6月18日
資 本 金	17億8,570万円
代 表 者	代表取締役会長 木下 守 代表取締役社長 金田 達三
本 社	神戸市須磨区弥栄台三丁目1番地の6
事 業 内 容	傘下の各事業会社を支配・管理する持株会社
従 業 員 数	1,684名(グループ計)
ホームページ	http://www.g-7holdings.co.jp/

■ グループ企業 (平成27年9月30日現在)

(国内)	
株式会社G-7・オート・サービス	株式会社G-7スーパーマーケット
株式会社G-7デベロップメント	株式会社G-7モーターズ
株式会社G7ジャパンフードサービス	株式会社G-7アグリジャパン
株式会社テラバヤシ	
(海外)	
G7 INTERNATIONAL PTE. LTD.	CM G-7 AGRI MYANMAR CO., LTD.
G7 RETAIL MALAYSIA SDN. BHD.	G7-MK(THAILAND) CO., LTD.
G7 AGRI VIET NAM CO., LTD.	七福集团有限公司(香港)
G7 VIET NAM BINH DUONG CO., LTD.	七福股份有限公司(台湾)
PT. G7 SERVICE. INDONESIA	

■ 役員の状況 (平成27年9月30日現在)

取締役会長 (代表取締役)	木下 守	取締役 坂本 充
取締役社長 (代表取締役)	金田 達三	取締役 福西 裕
取締役副社長	木下 智雄	取締役 志田 幸宏
取締役 岸本 安正		監査役(常勤) 橋本 正治
取締役 松田 幸俊		監査役 上甲 悌二
取締役 奥本 恵一		監査役 西井 博生

(注) 1. 坂本充氏、福西裕氏および志田幸宏氏は、社外取締役であります。
2. 橋本正治氏、上甲悌二氏および西井博生氏は、社外監査役であります。
3. 当社は、坂本充氏、福西裕氏、志田幸宏氏、上甲悌二氏および西井博生氏を、株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。